



療養費詐取事件、業界に衝撃

組長ら診療報酬詐取
容疑者15人逮捕
（11/6 読賣新聞）

11月6日（金）、住吉会系暴力団組長が柔道整復師らと共謀し療養費や診療報酬をだまし取ったとして、関係者男女14人が警視庁に逮捕された。このニュースは、NHKの正午のトップでも報じられ、新聞各社やWebニュース、果てはワイドショーにまで取り上げられた。会員の皆さんも、仕事のなかで患者さんから話題にされ、大変な憤りを感じているのではないだろうか。

マスコミはこの事件の背景にも言及しており、接骨院の増加による過当競争や、それによる慰安行為の横行や不正請求、受領委任払い制度の不備、さらには国保に代表される保険者や自治体の審査の甘さなどが、凶らずも国民に広く知れ渡ることになった。これらは柔整業界が抱えているおもな問題点のほぼすべてでもあるが、もうひとつ指摘しておきたいのは、業界構造の緩さである。過当競争だけであれば、それは柔道整復師間だけの問題であるが、今回の事件は第三者が大きく関与している。どこかに儲かる話が転がっていないかと考える連中が容易に入り込める業界の脆弱性にも問題が潜んでいることを忘れてはならない。もちろん柔道整復師自身にも大きな責任がある。職業倫理の低さや認識の甘さにつけこまれた結果、誘惑に負け災いを招くことになったに違いない。今後は行政も含めた業界構造の強化と、学校と業界両者による倫

療養費詐取容疑者逮捕
警視庁組長や接骨院経営者ら
（11/6 朝日新聞）

- （11/7 毎日新聞Web版）
- ・保険証690人分を悪用…患者役に報酬
 - ・偽装依頼「毎月5000円で」
 - ・保険請求厳格化 施術不正を根絶 厚労省検討

理教育の充実もより必要になってくるだろう。

業界の問題がクローズアップされた今こそが、世論を味方につけて改革していく好機でもある。森川会長は、「今後いろいろな形で対処していかなければならないが、ピンチをチャンスに変えるよい時期であり、膿を全部出すチャンスである。知恵を絞って協力し合い、難局を乗り越えていかなければならない」と意気込みを見せている。

また日整・工藤会長は、「業界団体はじめ柔道整復師の一人ひとりが、事件を重く受け止め、大同団結して国民の安心・安全な療養を確保し、不名誉を払拭すべく業界全体が積極的に活動していかなければならない。不正請求に対し、審査委員会や地方厚生局の指導監査の強化はもとより、新たに施術管理者講習会等の平成28年度中の開始を目途として設置・開始するなど、抜本的な制度改革を早急に実施することが今こそ必要である」とコメントしている（日整ホームページ・JJT保険部ニュース*より抜粋）。

日本柔道整復接骨医学会学術大会 新潟で開催



藤川副会長と寛学術部長（合成）

11月7日（土）・8日（日）、第24回日本柔道整復接骨医学会学術大会が開催され、会員10名が参加した。会場となった「朱鷺メッセ」新潟コンベンションセンターは、新潟市街近郊の信濃川河口のウォーターフロントに立地し、新潟コンベンションセン

ターと隣接の万代島ビル（ホテル日航新潟）からなる複合施設である。「柔道整復師の『今出来ること・今すべきこと』」を大会テーマとし、大会会長講演・特別講演・「シンポジウム」を含め、8会場で全253の講演や発表が行われた。本会会員からは以下の2題が発表がされた。

- ・山田直樹会員（半田）：「運動器のエコーの有用性について」
- ・佐藤隆史会員（中村）：「転倒、落下、不明で発生した肘内障3症例におけるBモード超音波画像観察」

平成27年度卒後臨床研修終了



9月27日（日）から4回にわたって実施された医療人研修（卒後臨床研修）講座が、11月1日（日）終了した。

今回は東海ブロック会の担当県である愛知県が運営にあたり、長谷川副会長（東海ブロック理事・管理責任者）と小村事務長（東海ブロック事務局）がそれぞれ司会進行と事務作業を行なった。新柔道整復師32名が熱心に聴講し、なかには2回目の参加という向学心に燃える人もあった。



9/27 森川会長「研修の意義と目的」

開講式には研修試験財団の福島 統代表理事も出席され、「卒後臨床研修は、昔は丁稚奉公という形で機能していたが今は事情が異なる。保険制度の勉強も含め、患者安全のために研修は重要である。実りある4日間になることを祈ります」と挨拶された。また森川ブロック会長は「業界はいま厳しい目で見られている。受領委任払いを維持し、伝統医療としての柔道整復術を次世代につないでもらうために、将来の業界のリーダーとしてしっかり研修をしてほしい」と述べた。

その後引き続き、森川会長より「研修の意義と目的」と題して講義が行われた。また、米田柔整専門学校より、米田忠正理事長・岩間よしゑ校長・萩野泰道元校長・船戸嘉忠副校長・島 大輔教務主査、米田病院より米田 實理事長・福島陽子スポーツ整形外科部長、県医務国保課担当者や東海3県社団副会長らに、ご多忙のなか講師を務めて頂いた。10月18日（日）の午後には藤川副会長が、「医接連携」と題して、その重要性について講義を行なった。



10/18 藤川副会長「医接連携」

国民医療推進協議会に役員9名参加



決議文（案）を読む長谷川副会長

11月19日（木）、県医師会館において、愛知県国民医療推進協議会地域集会在開催され、40団体などから約150名が参加。本会からも日整行事のため欠席の森川会長を除く役員9名が出席した。趣旨説明に続き、国民に必要な医療・介護を提供するための適切な財源確保と、医療等に係る消費税問題の抜本的解決が決議された。



市民マラソン 選手ケアに7会員が参加

11月1日（日）、半田運動公園にて第34回半田市民マラソン大会が開催された。今回参加選手へのケアに半田支部会員7名で初めてブースを設けて参加した。大会は半田市体育協会会長である佐久間稔晴・前愛整会会長の号砲でスタート。ジョギング、5キロ、10キロのそれぞれのコースを走り終えブースを訪れた、計103名の選手へのケアにあたった。（支部広報担当）室谷 勉

日本柔道整復師会
第50回東海学術大会
愛知大会
12月6日（日）
10:00~16:30
ウインクあいち

「最近のがん医療とがん対策」

愛知県病院事業庁長
愛知県がんセンター名誉総長

二村雄次先生

特別講演

10:20~12:00
2階大ホール